



私達の暮らしと税金

大田区立田園調布中学校 三年 千代 琴音

祖父が税に関係する仕事をしているにもかかわらず、改めて「税金」というフレーズは私にとってどこか遠いイメージがあり、今まで気にもとめず過ごしてきました。

今回、夏休みの課題として「税の作文」を書くことになり、家族に聞いたり、ネットで調べたところ、私達の身のまわりには、税金が使われているものが沢山あることがわかった。例えば、毎日通っている学校でも校舎や机、椅子、黒板、理科の実験道具、教科書もそうだ。また、日々の生活に欠かせないゴミ収集処理、警察、消防、道路などにも税金が使われているのだ。これらを国民みんなが負担し、納めているのが税金だ。

調べているうちに興味をもった「税制」がある。近年、世界的な問題となっている温暖化。「地球温暖化対策のための税」である。全国の日最高気温が年々上昇し、今年の夏も三十五度以上の猛暑日が続いている。六月末の時点で蝉が鳴いていたり、今年は梅雨が無いと思うほど雨が降らなかった。地球規模の課題だが、日本も二〇五〇年までに八パーセントの温室効果ガスの排出削減を目指している。温室効果ガスの九割が

二酸化炭素だと言われており、その元である化石燃料を使った量により負担額が決まる税である。またその納められた税の使い道は、例えば環境省のホームページによると低炭素技術を集約した施設の増設や導入なのだそうだ。温暖化を避けるためには、二酸化炭素を削減というより撲滅しなければならぬものだが、そこに達するまで、使用したらその分の納税をしてその集まった税金で、より温暖化の対策ができるしくみを整えていく資金としている。これは、地球の未来への投資だと思った。

ひとつしかない私達のかけがえのない地球を私達自身が守っていかなければならない。私達が納めている税金で地球を守っていけるなんてとても素敵だと思った。

また、伯母がアメリカに住んでいた時期があり、現地の救急車の話を聞いたことがある。税金ではない上にあまりに高額で誰も呼びたがらない。それに比べ日本の救急車は、税金で賄われているため誰でも呼びることができるサービスである。それも、魅力的なことである。

私達の日々の生活の中で、税金による恩恵をたくさん受けていることを改めて知り、みんなで社会を支えるための大切なものだと思う。大人になっても、税のありがたさを忘れないよう、自分達の住む地球そして日本がよりよい国であるために、しっかり納税していこうと思う。すべての人が税金を理解できるようになれば、素晴らしいことだろう。